

左近山中だより

令和5年 6月27日
横浜市立左近山中学校
校長 神林 康之
No. 3

感動の競技 大切な校歌

校長 神林康之

今年の体育祭は、久しぶりに保護者の入場制限もなく、来賓もご招待できました。開会式では素晴らしい選手宣誓が響き渡り、競技はどれも大いに盛り上がりました。

競技の一つに、全学年・全生徒で一斉に取り組む『大縄跳び』があります。「自分が足を引っかけはしないか」というプレッシャーの中、みんなで息を合わせ、引っかかっても決して仲間を責めず、何度も声をかけ合って跳ぶ姿は、本当に感動を呼びます。昼休みも一生懸命に練習していました。汗をいっぱいにかきながら、手の皮がむけても、全力で縄をまわし続ける2人の「回し手」たち。生徒の気合の入れようは、本番で円陣を組んで声をかけ合い、放送で呼ばれなくても早く入場し、指示されなくても並び始めるところから伝わってきました。そして、いざ本番。その勇姿。「中学生ってすごいなあ」と何度見ても、その年ごとの感動があります。その後、色別リレーが最後の盛り上がりを見せ、競技は終了しました。しかし、もう一つ嬉しいことが待っています。一番だけですが、閉会式に、みんなで校歌を歌えることです。これからも、様々な場面で、元気よく校歌を歌っていきましょう。それが左近山中学校を愛し、仲間を大切にすることに、きっとつながると思います。



左近山中学校校歌

「ぼらの青春」

丘にそびえる 白い団地
白いふるさと わが母校
あたらしい風が
すばらしい雲が
ここに生まれる 湧いてくる
ああ、心の窓を
あけて大きな 夢に生きよう
中学われら 左近山

※一番歌詞

子ども読書の日



6月5日（月）に、図書委員による「子ども読書の日」のビデオ放送が行われました。これが前期の図書委員メンバーで行う初めての大きな企画だったので、撮影中は大変緊張していました。その中で、図書委員全員の協力とインタビューを受けてくださった先生方に助けられ、無事に撮影を終えることができました。

今回の企画は、4月からこれまでの貸出数クラスランキング、4月の巡回図書の購入希望ランキングと各学年の先生方へのインタビューでした。視聴してくれる人たちに興味をもってもらえるように原稿を作ったり、何回もリハーサルを行って発表を工夫したりしました。放送後の感想に、「興味がでた本があったから、図書館に行こうと思った。」「先生が紹介していた本を読んでみたい。」「インタビューが面白かった。」というものがあり、図書委員の生徒たちも達成感を得ることができました。

今回クロムブックで感想を記入してもらうとともに、好きなジャンルの本のアンケートをとりました。アンケートの結果を参考にして、生徒のみなさんが読みたい本を整備していきますので、ぜひ図書館に足を運んでみてください。

（学習指導部 図書委員会担当）



巡回図書の購入希望ランキング上位

先生方の紹介本
や新着本の貸出
予約受付中



先生方からの紹介



好きなジャンルの本アンケート結果			
★小説	1位	ミステリー	★ノンフィクション
	2位	ファンタジー	
	3位	スポーツ・部活もの	
	1位	スポーツ	
	2位	宇宙のこと (太陽系・銀河)	
	3位	動物や植物	

生徒総会

5月25日（木）に生徒総会が開かれました。今年度は、全校生徒が体育館に集まり行うことができました。放送での総会とは違い、緊張感や臨場感を持って取り組みました。生徒会本部役員や各専門委員長、質問者だけではなく、生徒みんなが学校に関わる一員としての自覚を持てるものでした。学校の活動を知ることで、学校のことを他人事ではなく自分事として考えるきっかけにできたように思います。また、文化祭のスローガン決めや各クラスの学級目標や学級旗の紹介もありました。どのクラスも自分たちの向かう先や目標とする姿を見据えたものでした。目標に向かって、今年度も様々な活動、行事に精一杯取り組むことを期待しています。委員会活動や学級活動、様々な行事が活発になることはもちろん、生徒一人ひとりの学校に対する意識がさらに高まってほしいと思います。

今年の文化祭スローガンは、「天歌舞奏」に決定！！



（特活指導部 生徒会担当）

第51回体育祭

一位奮闘～全力を捧げよ～

今年は平日開催にもかかわらず、多くの保護者の方、そして地域の方々のご参観の中、無事に実施することができました。新型コロナウイルスによる制限もなくなり、多くの方に見守られ、応援されながら実施できたことは生徒たちにとってとても励みになったと思います。この時期は例年、天候が心配されますが、天気にも恵まれました。生徒たちは約1カ月に及び、練習から本番まで一生懸命に取り組んでいました。特に体育祭実行委員は、『自分たちで体育祭を作り上げる』という意識で、各学級を引っ張る姿はとても素晴らしかったです。また、縦割りの色別対抗では、上級生が下級生を引っ張る姿も見られ、とても頼もしかったです。練習が始まってからも定期試験など、様々な行事が立て込む中、生徒たちがしっかり気持ちを切り替え、協力できたことで、よりよい体育祭になったと感じています。運動の好き嫌いに関わらず、生徒たちの一生懸命取り組む姿には、感動させられました。PTAの方々を含め、保護者の方、地域の方、ご理解ご協力いただきありがとうございました。（体育祭担当職員）



共に支え合う力の育成に向けて

～左近山中の学びの足あと～

本校では、生徒の特徴や強みを活かして、「問題発見・解決能力」や「共に支え合う力」「社会や未来とつながる力」の育成を目指して生徒の学びについて考えています。そこで、今年度よりスタートした新たな取組についてご紹介します。

① 学びのひろばのリニューアル

「主体的に学びに向かう態度」を育むために、単元などで学んだことをレポートや新聞、プレゼンテーション等にまとめたり、表現したりする活動が授業で取り入れられています。このような思考力や表現力を活かして学びを行うためには、基礎基本の定着が大切です。

左近山中の基礎力向上を目的にして、今年度より「学びのひろば」をリニューアルしました。具体的には、月に一度、教科の先生と学習の相談ができる時間を設定しました。

事前に申し込んだ生徒は、もう一度説明を受けたい点や、問題を解いていて分からなかった点を先生に質問しています。また、作品制作や実験等を行う場合もあります。

授業では、クラスメイト等と学び合う姿が多くみられます。これが左近山中の生徒の最も良い所の一つです。学びのひろばを通して「じっくり一人で学びを深める」「納得するまで理解する」チャンスにしてほしいと思っています。

② 校内授業交流会

新学期が始まり3か月が経ち、生徒は校外学習や体育祭を通して班やクラスの仲間との「共に支え合う力」を高めています。教職員も行事等を通すことで、チームワークを高めています。

普段は生徒の前で教える立場の教職員も、互いの良さを学び合い、授業をより良くしようと思っています。そこで、5月22～26日の1週間、校内の授業交流会を行いました。

教職員は事前に予定を合わせて、互いの授業を見学しました。そして、見つけた生徒の良さを伝え合ったり、授業づくりのポイントを教え合ったりしていました。

26日には協議会を行い、「先生と生徒の良さ」を活かした授業づくりについて話し合いました。協議会后には「もっと多くの授業を見学したい」「他教科の授業を見ることで生徒の新たな良さを見ることが出来た」という声が上がりました。

日々の授業で「分かった!」「成長できた!」と実感できるように、生徒と共に小さな改善を続けていきます。

～7・8月の主な予定～

7月11日（火）～14日（金） 個人面談

7月19日（水） 大掃除 教科相談

7月20日（木）夏休み前最終登校日

7月21日（金）～8月27日（日）夏休み

8月3日（木）～8月16日（水）学校閉庁日

8月28日（月）夏休み明け初登校日

